

2025~26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL : <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email:katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川博則 ■幹事 辻利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～縁（えにし）
を継なぐ～

第3096回 例会 (10月14日)

●会長スピーチ



会長 滝川 博則

すっかり秋も深まり、街には金木犀の香りが漂う季節となりました。朝晩の涼しさに季節の移ろいを感じる今日この頃です。

さて、先週火曜日には斎藤前会長とともに福井県立恐竜博物館を訪れ、ロッキー博物館への友情の品をお届けした報告をいたしました。

ボーズマンとの交流の象徴として、互いの友情を形にできたことを大変うれしく思います。

翌水曜日には鷺田会員とご子息そして辻幹事とともに勝山市の水上市長を訪ね、ボーズマン訪問のご報告をいたしました。

市長からは「これからもロータリーの皆さんを中心に、ボーズマンとの交流を続けていってほしい。市民の皆さんも巻き込んで、広く交流の輪を広げたい」とのお言葉をいただきました。

また、市長の方からは今後の具体的な交流案も示され、今後の展開が楽しみな内容でした。

その後、福井新聞社の取材も受け、近々新聞報道もされ、地域の皆さんにもこの活動を知っていただく良い機会になるかと思います。

そして本日は、米山奨学生をお迎えしての卓話です。改めて少しご説明いたしますと、「米山記念奨学金」とは、日本全国のロータリアンの寄付によって支えられている、外国人留学生のための奨学制度です。

経済的な支援だけでなく、世話クラブやカウンセラーアイデアを通じて、留学生の生活や学業を温かく支えるという特徴があります。

将来は日本と母国との懸け橋として国際社会で活躍してくださる方々を育てるという、大変意義のある事業です。

本日はその米山奨学生の皆さんから、日々の学びや夢、そして日本での生活についてお話をうかがえる貴重な機会です。どうぞ皆さま、本日のゲスト卓話で米山奨学生制度の理解を深めていただければ幸いです。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

○今月は米山月間です。寄付のご協力をお願いします。目標額はお一人2万円です。

●委員会報告

●公共イメージ委員会

斎藤 清一郎

週報に掲載しています「会員のコーナー」への投稿をアメリカへ行かれた方々、よろしくお願ひします。

●出席報告

山内 智子

10月14日	欠席3名	85.71%
10月7日	欠席4名	81.82%

●ニコニコ報告

笠松 誠一

発表の機会を得て 2650地区米山奨学委員会
米山奨学生がお世話になります 福井西RC屋敷大作
和田達也・山本泰司
届出欠席



こんにちは。地区米山奨学委員の多田と申します。日頃から皆様には温かいご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

米山基金は、1952年から海外の優秀な学生の勉学の支援をすることとして始まりました。

二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に役立ちたいという戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

現在の米山奨学生は、海外から日本の大学や大学院に留学して勉強している学生を支援しています。

日本と母国とそして世界、この懸け橋になってくれる人材を育てていくというのがこの奨学生の目的でございます。

全て皆様からのご寄付で成り立っております。よろしくお願ひいたします。

今年度は全国で950名、2650地区で60名、福井県では9名をお世話。カウンセラーは奨学生一人に一人つき、日常を色々サポート。会員との交流を通じて日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学ぶ。

カウンセラー 福井西ロータリークラブ
屋敷 大作 様



本日 プログラム	ゲスト卓話 理科研究発表	10月28日 プログラム	ゲスト卓話 竹田式体操	11月4日 プログラム	ボーズマザーライズRC 訪問報告会	11月8日 プログラム	IM みくに未来ホール
-------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------------	----------------	----------------

ゲスト卓話

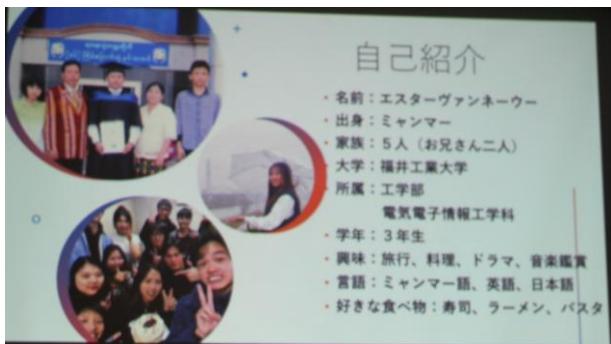
日本への留学の挑戦と成長

米山奨学生 エスター・ヴァンヌーー氏



私はミャンマー出身で、日本に来て4年目、福井には3年目になります。

今年、福井工業大学の3年生で、電気電子工学科を専攻しています。現在は攪拌システムの実用化に向けた研究に取り組んでいます。



攪拌システムとは、液体を混ぜながら内部から効率的に加熱する装置で、より短時間で均一な加熱を実現することを目指しています。その知識を将来社会に役立てたいと考えています。

日本での留学生活では、言葉や文化の違いに戸惑いながらも、多くの人の支えを受けて成長してきました。



大学では授業や研究のほか、地域活動や異文化体験にも積極的に参加しています。特に勝山でのスキービークスでは、初めて雪の上を滑る楽しさを感じ、冬の自然の美しさと新しい挑戦の喜びを味わうことができました。このような経験を通して、人とのつながりや学びの大切さを深く実感しました。

ロータリークラブの皆さまが温かく迎えてくださり、自分も少しでもお役に立ちたい、地域に貢献したいという思いが強くなりました。今後はクラブの活動やボランティア、地域活動にも積極的に参加して行きたいと思っています。

将来は、学んだことを活かし、ミャンマーと日本をつなぐ懸け橋となる技術者を目指して努力を続けてまいります。

このような素晴らしい卓話の機会をいただいた勝山ロータリークラブの皆さまに、心より感謝申し上げます。





今回のアメリカ旅行では、まずシアトルに滞在し、ドジャースとマリナーズの試合を観戦しました。

ただ大谷選手が休養で休んでしまい、プレーする姿は見れませんでした。でも大リーグならではの迫力あるプレーと、スタジアム全体の熱気に包まれた雰囲気を満喫することができました。



その翌日ボーズマンへ移動し、サンライズ・ロータリークラブの皆さんと交流する機会をいただきました。

温かく歓迎してくださり、地域の活動やクラブの取り組みについて学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。

またマイク・ケイティさん夫妻のお宅に4日間ホームステイをさせていただき、心のこもったおもてなしを受けました。

お二人との語らいや、ボーズマンの美しい自然を巡る時間は、私たちにとって忘れられない思い出です。



滞在中には昨年、勝山を訪問されたビリー・ジョアンナ夫妻が、遠路はるばるワシントンDCから駆け付けて下さり、4日間レンタカーで私たち2人をエスコートしてくれました。本当に感謝に堪えません。イエローストーン国立公園を訪れ、大自然の雄大さと多彩な地形、野生動物の姿に感動しました。

間欠泉や温泉、壮大な渓谷など、どの景観もまさに自然の神秘を感じるものでした。



シアトルからボーズマン、そしてイエローストーンへと続々旅は、アメリカの魅力を存分に味わう素晴らしい体験となりました。

多くの出会いと温かいおもてなしに、心より感謝しました。